訓練 弟子たち 修行

セッション 21: 弟子らしさは関係性(10a)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **ペテロへの第一の手紙 1:22-23**
22 真理への従順によって、誠実な兄弟愛のために魂を清めた。
純粋な心から真摯に互いを愛し合い、生まれ変わってから23年、
腐りやすい種ではなく、不朽の種の種のもの、
生ける神の言葉を通して;

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* **– ペテロ1章**

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. 著者は、弟子や弟子と健全な関係を築くのに役立つ8つの資質を提案しています。

二. 最初の資質は「温かさ」で、これは研修生に対する愛情と優しさの態度です。

三. 弟子に「あなたが彼/彼女を愛している」と伝えることが重要です。自分の愛を表現する方法を見つけ、あなたの受け入れと愛が本物であることを彼らに伝えましょう。

四. 言葉よりも行動が雄弁であることを忘れないでください。言葉は重要で重要ですが、行動の方がより重要です。

五. フィリップスは、優しさには配慮が必要であり、適切な時に正しい言葉を言うべきであるという鋭い洞察力が必要であり、それには神の知恵が必要だと書いています(ヤコブ3:17)。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*
著者による第10章a(キース・フィリップス):

弟子になることは関係性のものです

弟子訓練は人生から人生への出会いです。それは単なる集会や決まった学習コースではありません。本質的には関係性のものであり、あなたのすべてを他人に投資することです。キリストにあって持っている充実した人生を弟子の中で再現する成功は、あなたとの関係の強さによって増減します。弟子との健全な関係を築くのに役立つ8つの資質を提案しましょう。

温かさ

温かさとは、言葉と非言語のコミュニケーションを組み合わせて伝えられる愛と優しさの態度です。あなた方の互いへの愛は、キリストへの愛を示す最も重要な指標です。ペテロ第一1章22節は、クリスチャンに心を尽くして温かく愛し合うことを励ましています。無私の心、奉仕、献身こそが愛であり、服従権威の関係を世の中のパートナーシップと区別します。

愛は兄弟のために最善を追求します。それは真摯な思いやりの中に現れます。パウロはバルナバに言いました。「...

主の言葉を宣べ伝えたすべての町に戻り、兄弟たちを訪ね、彼らがどうしているか見てみよう」(使徒言行録15章36節)。あなたの弟子は友人であり、霊的なプロジェクトではありません。彼の傷に耳を傾け、悲しみの中で慰めなさい。彼の関心や関心、喜びを自分のものとして受け入れなさい。彼に影響を与える人や出来事に心から関心を持ちなさい。あなたが喜んで弟子に仕えれば、彼はあなたが彼を愛していることを知り、あなたを尊重し、あなたの指導を求めるでしょう。パウロは言いました。「わたしは喜んであなたの魂のために使い、使い捨てられるようにします…」(コリント人への第二の手紙12章15節)犠牲的な愛は、弟子を「完全で完全、何も欠けない者」となることへの導きを与えます(ヤコブ1:4)。あなたの弟子への愛は、彼への献身に基づいています。それは感情を超えます。多くのキリストの弟子たちはキリストを見捨て、他の者は彼が彼らのために死んでいたにもかかわらず、彼を知らないと否定しました。しかしキリストの彼らへの献身は揺るぎませんでした。「…彼は最後まで彼らを愛していました」(ヨハネ13:1)。パウロの愛は、彼の民を救うためなら「永遠に呪われても」と思わせました(ローマ9:3 LB)。愛は、弟子と共に第二のマイルを歩み、彼を励まし築くために自分を広げる動機を与えます。それは、裁きやすく、唐突で、要求が強い精神を赦し、忍耐、理解へと変えてくれます。使徒たちが霊的な子どもたちに語る愛の言葉を聞いてください。「このようにあなたに深い愛情を抱くことから…」(テサロニケ人への第一の手紙2章8節);「私はあなたに会いたくてたまらない…」(ローマ人への手紙1章11節);"…「私はあなたを心に抱いています。キリスト・イエスの愛情をもって、皆を切望しています」(ピリピへの手紙1章7節、8節);「私の子どもたちが真理の中を歩むことを聞くことよりも大きな喜びはありません」(ヨハネ3 4章)。弟子に愛していることを、決して恥じてはいけません。最近、私は約3,000マイル離れたニューアークにいるノーム・ボズウェルに電話をかけ、ただ「愛しています」と言いました。ノームは、私が電話した唯一の理由がそれだと知って、驚き、そして大喜びしました。スージーは弟子に花束を贈りました。マリアは、雨の中歩いて帰らなくて済むように、突然弟子を約束から迎えに行きました。弟子にあなたの愛を伝えましょう。しかし、愛には排他的な関係でないことも必要だと説明してください。自己犠牲とは、神の御国のために大切にしている友情に限界を設けることを意味します。あなた方は二人とも、他者と自由に与え、関わらなければなりません。関係性はキリスト中心であって、自己中心的でなければなりません。優しさはあなたのリーダーシップを高めます。パウロは「授乳中の母親が自分の子どもを優しく見るように」優しかった(テサロニケ人への第一2章7節)。あなたが弟子の感情に敏感であることは、彼の成長を促します。彼は、あなたの愛が彼の過ちや人間性によって損なわれないという確信を持っていなければなりません。パウロは「今、信仰に弱い者を受け入れなさい」と励ます。(ローマ人への手紙14章1節)ある晩、私は異常に緊張しているように見える弟子と一緒にいました。数分後、彼は涙ながらに告白しました。「私はあなたに嘘をつきました。」1か月前、彼は私が予約を望んでいた男性が不在だと私に告げていました。今になって彼は、電話をかけるのを忘れ、真実を話すのを恐れていたことを認めました。彼は私が地獄の炎と硫黄で応じるのを期待していたのだと思います。私は少し考え、彼が自分の過ちを認めるのを恐れていたほど要求の厳しい精神を伝えたことを謝罪しました。私は、私たちの関係はどんな婚約よりも重要であり、彼への愛は彼がしたことやしなかったことによって影響されることはないと彼に保証しました。後に彼は、その晩私が彼を受け入れたことこそが、神が彼を弟子として造るために彼を用いられると信じる最大の要因だったと話してくれました。もしあなたがキリストの無条件の愛について語りながら、弟子が罪を認めると嫌悪感を示すなら、あなたの行動はその言葉を否定します。あなたの人生は「あなたを愛しています。私はあなたの味方です」と伝えるべきです。優しさには配慮が必要であり、他人を怒らせずに正しいことを言ったり行ったりするべきかを鋭く見極めることです。それは弟子の防衛機制を刺激することなく、自分の原則に忠実であり続けることを可能にします。箴言15章23節(LB)にはこう記されています。「…正しい時に正しいことを言えることは、なんと素晴らしいことか!」気配りには敬虔な知恵が必要です。ヤコブ書3章17節はこう教えています。「しかし、上からの知恵はまず純粋で、次に穏やかで、穏やかで理性的で、憐れみと良い実に満ち、揺るがず、偽善なく。」数年前、私たちのスタッフの一人が別の都市に異動しました。到着するとすぐに、その都市のミニストリーの多くの欠点を指摘し、より効果的かつ効率的にする方法を提案しました。新しい都市の職員たちは防御的に反応し、彼女の言うことすべてを無条件に拒否しました。

この若い女性は、新しい牧会に大いに役立つ実践的な知識と経験を持っていたにもかかわらず、配慮の手腕に欠けていました。彼女が彼女が彼らを愛していると分かるまで、彼らの生活や仕事についての脅迫的な質問は先延ばしにすべきでした。質問の嵐はしばしば尋問と解釈されます。人は、他人が自分のしていることすべてに穴を突いたり、突然大きな変化を提案したりすると防御的になります。「主は憐れみ深く恵み深い方で、怒りに耐え、愛に満ちた優しみに満ちている」(詩篇103:8)。あなたのキリストのような温かさが福音の正当性を守っています。それは弟子の尊敬と心の開きを促します。

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いを祈ります。*

pp.101-104

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から直接引用し、改訂は加えていない。

改訂20261012